



# いちご いちえ 一笑

No. 9



発行：鹿沼市教育委員会生涯学習課 ☎63-3498・学校教育課 ☎63-2236

令和 5年  
12月発行

## 鹿沼市 地域学校協働活動&コミュニティ・スクールだより

この2学期、さまざまな工夫を凝らして各学校は今年度2・3回目の学校運営協議会（以下、「会」）を開催しました。今年度、鹿沼市の学校運営協議会の委員さんは延べ人数 296 名の方が任命されています。PTA 関係者・学校支援ボランティア・スポ少関係者・自治会関係者・交通指導員・駐在所・民生委員・コミセン職員等、会によって様々な方が参加されています。協議内容も各地域・学校が抱える実情に応じたさまざまな課題が挙げられていました。解決の目途が立たない課題もありますが、それらを学校と地域の方々と情報を共有できたことに意義が見いだせたのではないのでしょうか。まずは、みなさんが「同じ席に着く」ことだと感じました。

## 地域学校協働活動



（地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動のこと。鹿沼市内の小中学校では、特に地域のヒト・モノと関わる活動を「地域連携」とも表現している。）

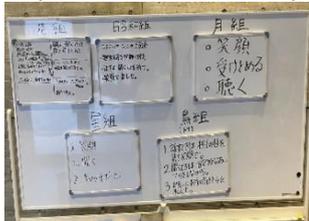
### ◆◆◆地域学校協働活動&コミュニティ・スクール研修会について◆◆◆

栃木県教育委員会（上都賀教育事務所）・鹿沼市教育委員会では、地域学校協働活動・学校運営協議会への理解や円滑な運営や活動を進めるため研修会を毎年開催しています。

#### 心が元気になる『ふれ愛』コミュニケーション

9.21(木) 13:20~16:00 道の駅「日光」

日光街道ニコニコ本陣を会場に、前半は足利市の社会教育指導員の村山哲也様・寺内千明様をお迎えして、誰もが生き生きと暮らしていける社会の実現を目指して、よりよいコミュニケーションの取り方を歌とトークを通して、参加者のみなさんにお伝えくださいました。



後半は、コミュニケーションの必要性について、グループワークと情報交換を行い、「笑顔」と「傾聴」の大切さを改めて感じた充実した研修会となりました。

#### ～参加者の感想～

- ・協議会の設立時期の違いを感じたが、焦らず進めたい
- ・先生方の意見が聞いて参考になった
- ・どこの学校も困っていることがあり、ほっとした
- ・他校とつながれてよかった
- ・どの学校運営協議会も手探り状態と感じた

#### 「こうやってやってたんだ!~身近な事例から学ぶ~」

11.13(月) 13:20~16:20 市民情報センター

東中学校地域コーディネーターの黒本博様、北犬飼中学校地域連教員の古平真一郎先生から、各校の地域連携の活動の取り組みをお話いただき、参加者との熱心な質疑応答がなされました。

その後のグループワークは、ふれあい学習課の大橋礼子先生 矢島隆宏先生のご指導の下、これまでの地域連携において、「うまくいったこと・いかなかったこと」の話し合いがなされました。参加者にとって、各々に新たな学びが生まれた研修会となったようです。



#### ～今後の研修会に期待すること～

- ・学校運営協議会の運営方法について
- ・グループワークで、学校運営協議会を体験したい

# コミュニティ・スクール(CS)

(「学校運営協議会」を設置した学校のこと)



## 「学校運営協議会に対する管理職向けアンケート」の結果から

実施時期：令和5年9月 実施対象：鹿沼市内小中学校管理職

※アンケート結果から「質問1は、よかった点」「質問2、3は、課題・改善点」としてまとめた。

	単独での設置校	合同での設置校
よかった点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員同士、委員と学校の交流</li> <li>・学校運営方針の共有</li> <li>・地域との協力体制の構築</li> <li>・学校の困りごとの共有とその解決</li> <li>・様々な立場からの意見</li> <li>・県、市教委からの支援</li> <li>・児童、生徒との意見交換</li> </ul>	※左記の内容も含む <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校間の経営方針の理解</li> <li>・事務負担の軽減</li> <li>・教頭の連携</li> <li>・担当指導主事のわかり易い説明</li> <li>・委員の学校への興味の深まり</li> <li>・児童、生徒の参加</li> <li>・地区内小中学校児童生徒の理解</li> </ul>
課題・改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会を軌道に乗るための工夫</li> <li>・委員への報酬</li> <li>・協議会の開催時間帯（夜の時間帯）</li> <li>・委員の選定の悩み（充て職、地域での立場等）</li> <li>・協議会の内容の地域への発信不足</li> <li>・子どもの意見の必要性</li> <li>・教職員、委員の協議会への理解の不足</li> <li>・協議会の盛り上げ方</li> </ul>	※左記の内容も含む <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校間の抱える課題の違い</li> <li>・委員への通知方法（電話、郵送以外）</li> <li>・2校、3校の委員の行事参観への負担</li> <li>・地域学校協働活動の理解不足</li> <li>・今後の協議会の進め方・行政の更なるリダーシップ</li> <li>・事務業務の学校外への移行</li> </ul>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発足年、学校規模、地域性により各協議会の持つ良さや課題が浮き彫りになった。会議の準備進行に対する気遣い等心的負担等は各校共通であり、他校の情報を知りたい様子が伺えた。</li> <li>・今夏の猛暑に伴う除草については、どこの学校でも課題として話し合いが行われた。</li> <li>・地域の方々からの意見には、では各校で開催されている学校運営協議会でどのようなことが話し合われているのか、具体的な内容を発信してほしいとの声がある。</li> </ul>	

## 学校運営協議会のようす



コミセンでの会議・西小



津田フェス実施・津田小



150周年への協力・石川小



児童・生徒との協議 A・南押原中



学校祭への招待・池ノ森小

第2回の学校運営協議会については各校の実情に合わせ、工夫して開催されました。会議の場をコミセンにしたり、給食の試食会を協議会の時間帯に取り入れたり、学校祭・学習発表会へ招待したり、学校行事の準備に委員さん方が加わったり、実行委員会を組織し行事を実施したりしました。

また、委員さん方に好評だったのは児童生徒との話し合いでした。これも実情に合わせ、児童・生徒両者を同席させたりお題を設けたり、全くのフリーの話し合いにしたり等、子どもや学校生活の様子の実際がわかり委員さんは満足の様子でした。



児童・生徒との協議 B・北中



給食体験・楡木小



児童・生徒との協議 C・南摩地区